



日頃より「歩む会」の皆様方には温かいご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

私にとって、国会対策委員長として臨んだ初の通常国会が6月22日に閉会しました。消費税8%への増税、秘密保護法、TPP(環太平洋経済連携協定)、成長戦略に名を借りて働く人を蔑ろにした労働法制の改悪、NHKの刎井勝人会長や小松一郎内閣法制局長官などのお友達人事、石原環境大臣らの失言、そして集団的自衛権に絡む憲法解釈の閣議決定など多くの論点が議論された150日間でしたが、正に与党の国会運営は謙虚さを欠く、強引なものでした。

とりわけ集団的自衛権の閣議決定による一方的な憲法解釈の変更は、一部の与党議員のみの密室で議論がなされ、国民や国権の最高機関である国会に全く説明や議論がなされないまま行われてしまいました。我が国を取り巻く安全保障の環境は確かに日々変化をしていますが、与党時代に防衛副大臣と外務副大臣を経験させて頂いた私は、誰よりもこの問題を憂い、緊張感を持って議論してきた国会議員の一人だと思っております。しかし、問題なのは政策議論以前の安倍内閣の独善的な政治手法です。主権者は国民です。国会はその国民の代表の集まりです。国民や国会への説明責任を果たしていない結果、多くの国民がその問題の本質を「よくわからない」と言っているのです。にもかかわらず、安倍総理はまるでブルドーザーが家屋を押し倒していくかのように、強引に物事を押し進めてまいりました。立憲主義や憲法の順守義務を疎かにし、正規の手続きを踏まずに安倍内閣の一人存で国家の基本方針を大転換することに、多くの専門家のみならず、実際に現場で任務にあたる自衛官の方々からも不安や疑問の声が上がっています。

このように、自身の理念や思想に同調する専門家だけを集めて私的諮問会議を立ち上げ、「専門家による第三者機関がそう言っているのですから、憲法

解釈の変更を閣議決定します」という政治手法はあまりにも傲慢で乱暴なやり方だと言わざるを得ません。「平和の党」や「与党のブレーキ役」を自負していた公明党の国会議員団でさえも、安倍内閣の暴走を止めることはできませんでした。

世論を軽視し、数の力を背景に何でもできると驕り、勘違いした政治に対し国民は疑問と不信感を持ち始めています。先の滋賀県知事選挙における前民主党衆議院議員が自民候補を1万3千票以上の差をつけて勝利したことは、正にその証左が示されたのだと思います。

私たちは、数こそ少数ですが、選挙を意識した「第三局政党」の離合集散の動きに惑わされる事無く、見つめる先を誤らず、常に「集めた税金を使う側でなく、生活をして税金を払う側に立った政治」を具現化できるよう努力を続けたいと存じます。

私は、「歩む会」の皆様の想いを胸に、初心を忘れずに働いてまいります。今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

参議院議員 榛葉賀津也

● 賀津也の部屋 ●

「ヤジは国会の華」?

東京都議会でのセクハラ野次がマスコミで大きく報じられた。一般質問中の女性都議会議員に対して、複数の男性議員が結婚や出産に関する女性蔑視ともとれる卑劣な野次を飛ばした件だ。結局、非を認めて名乗り出て謝罪したのは自民党の議員一人だったが、他にも複数の議員が野次っていたのは明らかだ。今回の東京都議会での発言は、「野次」と呼べる代物ではない。単なる差別発言だ。暴言を発した者の人としての質の悪さと教養の無さを露呈しただけで、欧米議会なら即刻、議員辞職ものだろう。

数におごり、緊張感が欠如するとこのような“事件”が起こるのは国会も同じだ。今国会においても参議院で野次にまつわるトラブルが発生した。民主党の北澤俊美議員(元防衛大臣)が戦前生まれのご自身の人生体験をもとに、安倍総理に対して「歴史や国民の心に耳を貸さない強引な安保政策は慎むべきだ」と発言した際、30代の自民党議員が放った暴言。「戦前生まれが最もタチの悪い世代だ!」これには自民党の戦前戦中生まれの前輩議員も激怒した。議院運営委員会でも問題になり、結局この自民党議員は、北澤議員に謝罪をし、議運委員長から厳重注意の処分を受けた。

これらの事件を期に「議会における野次は許されるべきか」という議論がマスコミで沸き上がった。皆さんは議会における「野次」の是非についてどうお考えだろうか?

地方議会4年、国会13年の議会生活を経験させていただいた私の考えは、時と場合、中身によっては、やはり「野次は議会の華」だと思う。野次と呼ぶにはあまりに低レベルな上記の事案は論外だが、センスの良い「かけ声」は党派を越えて議場を盛り上げるのも事実だ。そもそも「上手い野次」は登壇者の発言をよく聞いていると同時に、議題になっている政策の中身を勉強していないと出来ない。与野党の各党には必ず何人かの「野次名人」がいて、その絶妙なタイミングとウィットに富んだ発声は、まるで歌舞伎の「合いの手」のようだ。この手の議員は他党の議員や事務方からも人気になることが少なくない。大臣たちに対する野党議員からの絶妙な野次に、「その通り!」と与党席から賛同の声が出る時があれば、下手な答弁をしている大臣たちに対し、閣僚とやはり同じ与党席から辛辣な野次が発せられることもある。参議院民主党の場合、体調を崩し、発言や答弁に苦慮している登壇者には「絶対に野次ったり、冷やかしたりしてはいけない」という不文律も存在する。

かつて、戦前の議員である三木武吉衆議院議員や落語家の立川談志参議院議員のような野次の天才がいた。党派や主義主張が違っても、有権者の代表である同僚議員に対する人情味ある野次、緊張感を持たせる野次は、やはり「議会の華」といえるかもしれない。試されるのは議員以前の人間としてのセンスだ。

2014年後半 活動計画

歩む会日帰りバスツアー

9月6日(土)に岳駿支部主催の横須賀ツアー、10月に天竜支部主催の日帰りツアーを計画しています。楽しい親睦旅行に参加しませんか? 詳しくは事務所までお問合せください。

グラウンドゴルフ大会

■日時 10月26日(日) 午前9:00~ 午前8:30より受付開始

■会場 小笠グラウンドゴルフ場

■参加費 500円

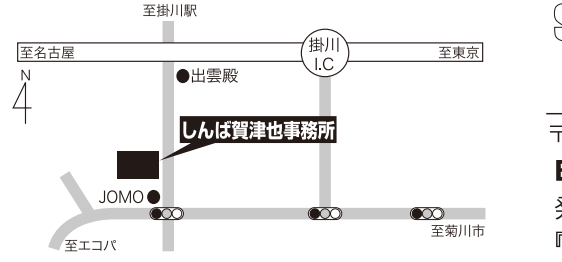
秋の一日、健康増進にいい汗かいてみませんか? 初心者も大歓迎! どなたでも参加できますので、事務所までお申し込みください。尚、会場の都合上、先着200名で締切りとさせていただきます。

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただけ方を募集しています。年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。なお、しんば賀津也ホームページからもお申込みいただけます。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

歩む会ならびに党员・サポーター登録の御礼

多くの皆様に深いご理解と多大なるご協力を賜り、榛葉事務所において過去最高の実績を残すことができました。誠にありがとうございました。これからも皆様のお気持ちを胸に、日々精進してまいります。



しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com <http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。

2014年前半 地元活動報告

4月～6月 空手大会で選手を激励



4/26(土)第4回全日本極真空手道「型選手権大会」【静岡市北部体育館】



6/22(日)日本空手協会第57回東海地区空手道選手権大会【掛川市さなり〜な】

5/25(日) 2014政治セミナー【ホテルアソシア静岡】

講師に民主党愛知県連代表・参議院議員 大塚耕平先生をお招きし、専門である日本経済について現状と今後の課題を中心に講演をいただいた。正確な数値が掲載された資料をもとに、今後の展望について理解を深めた。



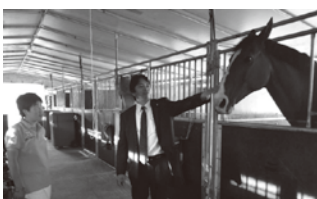
5/31(土) 静岡県馬術連盟行事



静岡県馬術連盟会長として第48回SHIZUOKA杯一スショー兼東海ブロック大会選考会表彰式での一場面。



静岡県馬術連盟総会



御殿場総合スポーツセンター視察

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けナショナルトレーニングセンターとしての重要な役割を担っている。多くの馬術大会が世界文化遺産である霊峰富士を背に、ここ御殿場で開催されており、その風景は国内外の方にも感動を与えている。

6/1(日) 浜名湖花博2014雄踏大太鼓の実演鑑賞

大勢の来場者で賑わう「浜名湖花博2014」でのイベント、「雄踏大太鼓」の実演見学にお誘いいただいた。現代ではなかなか聴くことができない、お腹に響く迫力ある音を鳴り響かせる演奏に、とても感激した。



【浜名湖ガーデンパーク】

1/18(土) 歩む会総会&新年会【パレスホテル掛川】



2014年のスタートに開催した総会ならびに新年会。参院選でフル活動した昨年の活動結果及び2014年活動計画の承認をいただいた。更なる会員拡大を誓うとともに、じっくりと親睦を深めることができた。

2/21(金) 国会見学&世界らん展ツアーを開催

30名を超える皆様に県内各地からご参加いただいた。前週の大雪が残る中、榛葉議員からの国政報告と国会見学。また、東京ドームでは咲き誇る蘭の素晴らしさに圧倒された。今回のお楽しみ企画は、歌舞伎座ギャラリーの見学とショッピング。早春の東京を満喫できた。



3月・6月 国政報告会

3/1(土)講師に民主党幹事長代行・衆議院議員 長妻昭先生をお招きし、恒例の国政報告会を行った。長妻先生の専門である、年金と社会保障の話題を中心に講演をいただき、参加者千名を超える熱気ある報告会となった。



【菊川市 アエル】



しんば賀津也 国政報告会

6/14(土)岳駿支部主催の国政報告会では、富士宮市選出の四本県議・稲葉市議・野本市議にご参加いただいた。年金・医療・介護・雇用の身近な問題から集団的自衛権などの国政の課題まで、幅広く報告。

【富士宮市 きらら】

4/20(日) 新茶初取引に参加



JA遠州夢咲サエアにて静岡県内茶市場トップの新茶初取引に参加させていただいた。民主党静岡県連茶業振興議員連盟会長として、茶業の活性化と消費拡大のために、今後も引き続き努力してまいります。



国会発 東奔西走

世界のSHIMBA!
日本の榛葉!
静岡のしんば!!



4/7(月) 自誓会発足パーティー

細野豪志先生が代表を務め、民主党の立て直しのため一員として参加する自誓会の発足パーティーが約2千名の参加のもと盛大に開催。



1月～6月 国会見学

多くの皆様が国会にお越しになり、実際に国会をご覧になっていただけでなく有意義な意見交換の機会もいただいた。写真は小糸製作所で働く仲間の皆様方とご家族の方々がお越しになった際の意見交換の様子。



5/10(土)小糸フォーラム国会研修

5/30(金) ラーゴ駐日ブラジル大使・岸田外務大臣面会

2005年以来、行方を見守ってきた代理処罰による裁判。今回、最終判断がなされる前に、ブラジル司法に対し然るべき処罰を要請するため、被害者家族山岡ご夫妻と共に要望面談を行った。



ラーゴ大使に要請

6/12(木) 脳脊髄液減少症を考える議員連盟



「脳脊髄液減少症全国ネットワーク架け橋」の皆様と共に、民主党政策調査会長の櫻井充先生と患者の皆様の実状や抱える課題について意見交換を行った。

6/24(火) 両院議員総会

民主党衆参所属議員が一堂に会した両院議員総会にて参議院国会対策委員長として通常国会について報告。



1/22(水) 首都高速老朽化現場視察



老朽化が指摘されている首都高速を船上より視察。国土交通省の方々と対策の重要性と課題について意見交換を行った。

1/24(金) 第186回通常国会開会

様々な課題が山積する中、通常国会が開会され、参議院国会対策委員長として党の方針について各議員へ説明を行う。



2/20(水) ミャンマー経済界代表来日

ミャンマーより経済界の代表の方々が来日され、民主党日本ミャンマー経済交流連会長の野田前総理を交えて意見交換を行った。



2/27(水) エネルギー総合調査会視察



直嶋正行会長以下9名の衆参国会議員で、津波対策工事に取組む中部電力(株)浜岡原子力発電所を視察した。高さ22mに及ぶ防波壁や取水槽、搬入口強化扉、フィルタベントの工事現場などを詳しく見た後、関係者と意見交換を行った。

3/6(木) 日本イスラエル親善協会にて講演



日本とイスラエルの友好関係発展に尽力されている日本イスラエル親善協会にて、両国の友好の歴史や今後の可能性について講演。



榛葉賀津也さんが国政に最初にご出馬以来、ご縁があって微力ながら応援申し上げるようになって何年になるのかなあと、感慨ひとしおです。私の住む水窪町は平成の大合併の号令のもと17年、浜松市に編入されました。山間地域ですので長引く山林不況、高齢化、過疎化の三重苦の暮らしを強いられています。率直に言って合併効果について否定的にとらえる人が多い。こうした中で榛葉さんは地域においでになっても、いつも笑顔を絶やさず気軽に、ざくばらんにしかも真剣に話しを聞いてくれます。その温厚篤実なお人柄は党派を超えて人気があります。平成22年、榛葉さんが鳩山内閣の防衛副大臣だった頃、地元有志数十人と上京、防衛省を訪問しご案内いただいたことは忘れません。現在、国会対策委員長として各党のベテラン達と、丁丁発止とやり合っているのでしょうか。正々堂々頑張ってください。

元水窪町議会議員 田村寿彦